

## 平成21年度荏原病院脳神経外科 後期臨床研修プログラム

### 1 当院脳神経外科の特徴

現在日本脳神経外科学会認定施設(C-2140)として、常勤脳神経外科医5名で運営され、随時研修医が参加するという体制で診療が行われている。大学医局との関連もあるが、欧米のように医局などとは関係なく、やる気のある脳神経外科医を募集し、19年4月から現在の体制をとっている。総合脳卒中センターを神経内科とともに運営しており、脳卒中診療がメインとなっているが、general neurosurgeonとして、脳腫瘍、脊髄疾患、小児脳神経外科、脳血管内治療の診療を網羅している。補助手段として高気圧酸素治療も当科で運営している。19年4月、5月の手術件数も1,718件と年間200例強をこなしている。出身医局は昭和、慈恵、日医、千葉と多岐に渡り、東邦大学などの近隣大学や近くの基幹病院との連携も行われている。

### 2 後期研修の目的

初期臨床研修を修了した医師が、更に専門的な診療能力を修得し、各科認定医、専門医の資格取得を目指し、将来の指導医としての技能を養成することを目的とする。

### 3 後期研修プログラム概要

原則的に卒後3年目は脳神経外科医の初期研修として、荏原病院で術前および術後管理、基本手術手技の習得を行い、卒後4年目からは臨床実地研修、顕微鏡手術手技の訓練を受ける。当院と関連病院を合わせて入局後4年の研修を受けたのち、脳神経外科学会認定専門医、脳卒中学会専門医（研修中の取得も可能）の取得を目指す。（なお、高気圧酸素治療の専門医取得も可）。

### 4 研修可能施設

都立神経病院、都立墨東病院等の都立病院脳神経外科、亀田総合病院、国際医療福祉大学三田病院等の地域病院

東邦大学、日本医科大学等の大学病院脳神経外科、Royal Adelaide Hospital等の海外の病院

### 5 指導体制

氏名	専門医資格	氏名	専門医資格
土居 浩	脳神経外科専門医 脳卒中学会専門医 脊髄外科学会専門医、高気圧酸素治療専門医、脳卒中学会評議員	吉田 陽一	脳神経外科専門医 脳神経血管内治療専門医 脳卒中専門医
徳永 仁	脳神経外科専門医 脳卒中学会専門医	中村 精紀	脳神経外科専門医
望月由武人	脳神経外科専門医		

## 6 後期研修修了後（参考）

脳神経外科専門医取得後は、当院および関連病院にてさらに高度な臨床技術の習得を行い、希望する専門分野の訓練や各種の専門医取得を目指す（脳血管内治療学会専門医、脊髄外科学会専門医）。この時期には希望に応じて、基礎研究、臨床研究に限らず、国内・国外への留学を推進する。原則として以上のように入局後の研修プログラムを作成しているが、入局者の希望により対応していく。通常は卒後 7 年目の夏に脳神経外科専門医試験を受験することになる。なお、その間豪州、欧州での臨床留学も考慮している。また、他院の教育プログラムとのたすきがけも可能（他院の状況によるが）。